

## 平成22年12月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成22年5月12日

上場取引所 JQ

上場会社名 和弘食品株式会社

コード番号 2813 URL <http://www.wakoushokuhin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 和山 明弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当

(氏名) 市川 敏裕

TEL 0134-62-0505

四半期報告書提出予定日 平成22年5月14日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年12月期第1四半期の業績(平成22年1月1日～平成22年3月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第1四半期	1,083	9.4	10		10		8	
21年12月期第1四半期	1,196	2.4	76		71		43	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第1四半期	0.99	
21年12月期第1四半期	5.22	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第1四半期	4,696	3,752	79.9	458.14
21年12月期	5,205	3,822	73.4	460.68

(参考) 自己資本 22年12月期第1四半期 3,752百万円 21年12月期 3,822百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期		0.00		5.00	5.00
22年12月期					
22年12月期(予想)		0.00		5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年12月期の業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	2,561	1.5	1		4		5		0.65
通期	5,615	1.3	209	0.8	228	0.5	120	0.9	14.46

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 無  
以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年12月期第1四半期	9,493,193株	21年12月期	9,493,193株
期末自己株式数	22年12月期第1四半期	1,303,322株	21年12月期	1,196,322株
期中平均株式数(四半期累計期間)	22年12月期第1四半期	8,226,727株	21年12月期第1四半期	8,297,872株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績見通し等に関する事項は3ページ[定性的情報・財務諸表等]3.業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、新興国、資源国経済の伸びから世界経済が回復基調となり、輸出関連企業の業績に改善の兆しが見られました。しかしながら、厳しい雇用・所得環境やデフレ状態が継続し、内需関連の業界では、一部の企業を除き厳しい状況が続きました。

食品業界では、原油や原材料の一部が値上がりするなか、大手量販店や外食、中食企業による低価格競争が収まらず、食品メーカーの収益は、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

こうした状況のもと、当社は、お客様のオーダーメイド商品のスピーディーで的確な開発、少量・多品種・短納期生産などの当社の特長を伸ばしつつ、コスト競争力の強化を図るべく北海道・関東の両工場で人材育成と生産性・品質向上を目的とするプロジェクト活動を社内の自主的な取り組みとして継続してまいりました。また、引き続き仕入れの見直しや全社的な諸経費の節減に取り組み、筋肉質の企業体質を目指してまいりました。

営業部門におきましては、当社独自の製造設備を活用した高付加価値差別化商品の開発に注力し、展示会などにも積極的に参加して食品加工メーカー、外食・中食企業、コンビニエンスストアなどに対する提案型営業活動に積極的に取り組んでまいりました。しかし、前年同期のスポット的な売上などの減少により売上高は1,083百万円(前年同四半期比9.4%減)となりました。

利益につきましては、営業損失は10百万円(前年同四半期は営業損失76百万円)、経常損失は10百万円(前年同四半期は経常損失71百万円)、四半期純損失は8百万円(前年同四半期は四半期純損失43百万円)となりました。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第1四半期会計期間末における総資産の残高は4,696百万円となり、前事業年度末に比べ509百万円減少いたしました。その主な要因は、季節変動による売上高の減少に伴い、売掛金が309百万円、受取手形が52百万円減少したことによるものであります。

##### (負債)

当第1四半期会計期間末における負債の残高は944百万円となり、前事業年度末に比べ439百万円減少いたしました。その主な要因は、季節変動に伴う生産高の減少により買掛金が321百万円減少したことによるものであります。

##### (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は3,752百万円となり、前事業年度末に比べ70百万円減少いたしました。その主な要因は、前事業年度決算の配当支出による利益剰余金の減少及び自己株式の取得によるものであります。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ384百万円減少し787百万円となりました。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって使用した資金は、13百万円となりました。これは主に、売上債権の減少362百万円と仕入債務の減少320百万円によるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動において使用した資金は、303百万円となりました。これは主に、定期預金の預入による支出300百万円によるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動において使用した資金は、66百万円となりました。自己株式取得による支出22百万円と配当金の支払41百万円によるものであります。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年2月9日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

#### 4. その他

##### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

###### 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期会計期間末の貸倒実績率等が前会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

###### たな卸資産の実地たな卸の省略

当第1四半期会計期間末のたな卸の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前事業年度末の実地たな卸を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

###### 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降の経営環境に著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況について著しい変化がないと認められる場合には、前事業年度末において使用した将来の業績予測等を利用する方法によっております。

##### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年3月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,087,645	1,172,248
受取手形及び売掛金	782,234	1,145,008
商品及び製品	237,274	225,709
仕掛品	12,323	8,528
原材料及び貯蔵品	188,524	226,387
その他	86,446	84,899
貸倒引当金	4,271	6,293
流動資産合計	2,390,177	2,856,489
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	922,520	939,240
機械及び装置(純額)	342,955	364,269
土地	581,179	581,179
その他(純額)	192,145	200,922
有形固定資産合計	2,038,801	2,085,612
無形固定資産	13,103	13,924
投資その他の資産	254,757	249,841
固定資産合計	2,306,661	2,349,378
資産合計	4,696,839	5,205,868
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	469,636	790,286
未払法人税等	4,490	117,459
賞与引当金	72,000	75,000
その他	232,029	234,254
流動負債合計	778,155	1,217,000
固定負債		
役員退職慰労引当金	112,356	109,637
その他	54,185	57,067
固定負債合計	166,541	166,704
負債合計	944,697	1,383,704

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年3月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,413,796	1,413,796
資本剰余金	1,376,644	1,376,644
利益剰余金	1,180,959	1,230,584
自己株式	232,092	209,622
株主資本合計	3,739,307	3,811,402
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,834	10,760
評価・換算差額等合計	12,834	10,760
純資産合計	3,752,142	3,822,163
負債純資産合計	4,696,839	5,205,868

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
売上高	1,196,502	1,083,471
売上原価	1,016,365	858,024
売上総利益	180,137	225,447
販売費及び一般管理費	256,424	236,389
営業損失( )	76,286	10,942
営業外収益		
受取利息	2	55
受取賃貸料	1,742	536
受取保険金	2,350	840
その他	1,035	910
営業外収益合計	5,132	2,342
営業外費用		
支払利息	-	308
その他	641	1,295
営業外費用合計	641	1,604
経常損失( )	71,796	10,204
特別利益		
貸倒引当金戻入額	-	2,046
特別利益合計	-	2,046
特別損失		
固定資産除却損	-	201
特別損失合計	-	201
税引前四半期純損失( )	71,796	8,359
法人税、住民税及び事業税	2,297	2,304
法人税等調整額	30,744	2,523
法人税等合計	28,446	218
四半期純損失( )	43,349	8,140

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失( )	71,796	8,359
減価償却費	56,235	50,630
賞与引当金の増減額( は減少)	28,000	3,000
役員退職慰労引当金の増減額( は減少)	2,793	2,718
退職給付引当金の増減額( は減少)	2,391	2,634
貸倒引当金の増減額( は減少)	3,385	2,046
受取利息及び受取配当金	2	0
支払利息	-	308
売上債権の増減額( は増加)	428,138	362,799
たな卸資産の増減額( は増加)	49,775	22,503
未払金の増減額( は減少)	10,914	3,949
仕入債務の増減額( は減少)	408,653	320,650
その他	15,732	3,407
小計	63,619	101,727
利息及び配当金の受取額	2	0
利息の支払額	-	308
法人税等の支払額	50,067	115,273
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,554	13,854
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	-	300,000
有形固定資産の取得による支出	65,932	2,406
投資有価証券の取得による支出	299	298
貸付金の回収による収入	-	5
その他	1,569	1,266
投資活動によるキャッシュ・フロー	67,801	303,965
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	-	2,829
自己株式の取得による支出	-	22,470
配当金の支払額	49,787	41,484
財務活動によるキャッシュ・フロー	49,787	66,783
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	104,033	384,603
現金及び現金同等物の期首残高	886,078	1,172,248
現金及び現金同等物の四半期末残高	782,044	787,645

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 6. その他の情報

## (1) 生産実績

当第1四半期会計期間の生産実績を示すと、次のとおりであります。

品目	当第1四半期会計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)	前年同四半期比(%)
別添用スープ(千円)	504,296	81.3
業務用スープ(千円)	287,870	98.5
天然エキス(千円)	39,987	112.7
合計(千円)	832,154	87.8

- (注) 1. 金額は、製造原価で表示しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含んでおりません。

## (2) 受注状況

当第1四半期会計期間における受注状況を示すと、次のとおりであります。

品目	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
別添用スープ	609,457	88.9	124,890	100.1
業務用スープ	389,027	103.9	108,021	136.3
天然エキス	53,543	82.1	71,514	105.1
合計	1,052,027	93.5	304,425	111.9

- (注) 1. 金額は、予定販売価格で表示しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含んでおりません。

## (3) 販売実績

当第1四半期会計期間の販売実績を示すと、次のとおりであります。

品目	当第1四半期会計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)	前年同四半期比(%)
製品		
別添用スープ(千円)	596,267	84.0
業務用スープ(千円)	381,881	102.1
天然エキス(千円)	60,733	108.1
小計(千円)	1,038,883	91.1
商品		
メンマ・かきあげ等(千円)	41,566	79.5
その他(千円)	3,021	75.9
小計(千円)	44,588	79.2
合計(千円)	1,083,471	90.6

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含んでおりません。  
2. 当社の売上高は著しい季節変動があるため、下半期に偏っており、通常、第1四半期会計期間の売上高は他の四半期会計期間の売上高と比べ著しく低くなっております。